



✓ 住民投票 提案2

支持: 改築と建設のために100億ドルの学校債を発行。学校施設に必要な修繕資金を提供する。

✓ 住民投票 提案3

支持: 憲法を改正し、結婚をすべての人への基本的権利とする。LGBTQを自認する州内の66,000人のアジア環太平洋系住民を含め、すべてのカリフォルニア州民に結婚の自由が与えられるべきである。

✓ 住民投票 提案4

支持: 水のリサイクル、山火事防止、再生可能エネルギーへの資金供給などを目的とした、気候変動と環境プロジェクトに100億ドルの債券を発行。アジア環太平洋系住民は気候変動からの救済を必要としている。

✓ 住民投票 提案5

支持: 低所得者向け住宅やその他の公共のインフラに資金を供給する地方債について、有権者の支持率を3分の2から55%に引き下げる。これにより市や郡が過半数の賛成で住宅危機に対処しやすくなる。

✓ 住民投票 提案6

支持: 州刑務所における犯罪の罰としての非自発的自由の束縛を禁止する。非自発的自由の束縛は奴隷制度の遺産であり、収監されているカリフォルニア州民にとって不当、不必要、不公平である。

✓ 住民投票 提案32

支持: 2026年までに州の最低賃金を少なくとも時給18ドルに引き上げる。これにより高い生活費に苦しみ働くアジア環太平洋系住民のために必要な時給27ドルの生活賃金に一步近づく。

✓ 住民投票 提案33

支持: 州ではなく市や郡に、地域内の住宅のレントコントロールに関する決定権を与える。レントコントロールは、ロサンゼルスのような物価の高い地域での家賃の上昇についていけない低所得のアジア環太平洋系住民を助けることになる。

✗ 住民投票 提案34

反対: 特定の非営利医療提供者が処方薬の割引を政治活動に使うことを制限する。これは、カリフォルニア・アパートメント協会が、AIDSヘルスケア財団がレントコントロール推進の為に政治活動に資金を使用することを阻止しようとするものである。

✗ 住民投票 提案36

反対: 薬物犯罪や窃盗犯罪に対する刑事罰が強化される。これにより犯罪を減少させる根拠はなく、人種差別的であり、収監者が増え納税者への負担が増える。

✓ 条例A

支持: LA郡にて消費税内0.5セントを、低所得者向け住宅資金と、精神疾患を持つ路上生活者のケアに充てられる。LA郡は、住宅危機に対処するための安定した財源を必要としている。

✓ 条例E

支持: LA郡の内の59の市と法人化されていない地域の消防署管内にて、区画税の6セントを、消防士の雇用、救命処置装置の購入に使用できるようにする。

✓ 条例G

支持: 監督委員会を5人から9人に拡大し、任命された最高経営責任者を選挙で選ぶことを義務付ける。これにより国内最大の郡であるLA郡監査委員会をより民主的であり、信頼に値する郡内の160万人のアジア環太平洋系住民の代表者としてすることができる。

✓ 憲章改正DD

支持: 多様な住民からなる独立委員会を設立し、ロサンゼルス市議会が代表する15の選挙区の区分をする。政治家自身が立候補する選挙区を区分し、有権者を選ぶべきではない。

✓ 憲章改正LL

支持: LAUSD教育委員会が代表する7つの地区の区分の為に、多様な住民からなる独立委員会を設立する。政治家は自身が管轄する地域の、選挙区を自身で区分し、有権者を選ぶべきではない。

✓ 憲章改正HH

支持: 市憲法及びその他の技術的な変更の中で、市会計監査人と市弁護士の権限を明確にすることにより、市職員の権限も明確にする。

✓ 憲章修正案II

支持: 性自認を理由とする差別から市職員を保護する。市政の継続を支援する。